

産業廃棄物処理業における原単位目標について

公益社団法人全国産業資源循環連合会

(1) はじめに

2018年1月26日に行われた中央環境審議会低炭素社会実行計画フォローアップ専門委員会において、委員からの指摘のうち、中間処理業における目標値設定について、下記のご指摘を頂きました。

【指摘概要】

中間処理は施設なので、多くのエネルギーが使用されていると思う。今回の報告にあったブローアのインバーター化や省エネ型破砕機の導入などの省エネ対策を評価する上でも中間処理業において、目標値の中に、エネルギー起源CO₂というところも組み込んでいただきたいと思う。

実態把握は難しいところがあるかと思うが、少しずつ対応をお願いしたい。

これらの状況を踏まえ、当連合会では、中間処理業も含めた原単位目標の設定状況について、確認を行いました。

(2) 確認方法

原単位目標の設定状況の検討のため、カテゴリ1（温室効果ガス削減目標等を定め、CSR報告書等により公表し、全産連が行う実態調査に協力する企業）に属する事業者について、温室効果ガスに関連する目標として原単位目標を設定している事業者の情報をCSR報告書等から整理しました。

(3) 確認結果

原単位目標に関する指標を整理すると表1のとおりでした。

(4) 原単位目標の考え方について

今回、自社の事業形態の他、取り扱っている廃棄物や再生品の種類など多岐にわたる項目で原単位目標が設定されていることが確認されました。

これらの状況を踏まえると、産業廃棄物処理業における原単位目標は、各事業者が自社の取り組み状況の把握や施設の経年変化のモニタリングなどに活用することが望ましいと考えられます。

表 1 原単位目標の分子と分母について

分類	分子		分母
温室効果ガス 排出量	CO ₂ 排出量		<ul style="list-style-type: none"> ・年間受入量 ・年間処理量（中間処理施設） ・年間処分量（最終処分場） ・年間収集運搬量 ・浸出水処理量（最終処分場） ・製品出荷・製造量 ・廃棄物量＋石油製品生成量
			・売上高
			・工事施工高
			・工事件数
エネルギー 使用量	処理施設	電気使用量	<ul style="list-style-type: none"> ・年間受入量 ・年間処理量 ・製品出荷・製造量
		原油換算エネルギー使用量	<ul style="list-style-type: none"> ・年間受入量 ・年間処理量 ・製品出荷・製造量
			・売上高
		燃料使用量	<ul style="list-style-type: none"> ・年間受入量 ・年間処理量 ・製品出荷・製造量
			・売上高
			・稼働時間
	収集・運搬 車両	燃料使用量	<ul style="list-style-type: none"> ・年間受入量（総取扱量） ・年間収集運搬量
			・売上高
		・車両台数	
	重機	燃料使用量	・年間受入量
その他	処理施設	蒸気使用量	・稼働時間
	収集・運搬	運搬量	・燃料使用量
		走行距離	
	重機	重機稼働時間	・燃料使用量